

4年●組 総合的な学習の時間 学習指導案

1 単元名 「高齢者と共に生きよう」

2 単元指導計画

時	ねらい	学習活動	評価規準
1 2	学習の見通しをもつ	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマと学習の見通しを知る。 高齢者の存在について、自分の考えを書いてみよう。 ・高齢者とは何歳くらいの人たちか？ ・高齢者と聞いて思いつくことを3つあげよう。 ・高齢者の方々が喜ぶようなこと、好きなことには、どんなことがあるか。 ・今の自分が高齢者の方々にできそうなことには、どんなことがあるだろうか。 	○テーマと学習の見通しと、高齢者に対する今の自分の考えをもっている。
3	高齢者疑似体験をする目的を確かめ、予想する。	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ、高齢者が65歳以上であることを知る。 ・自分たちもいつかは、65歳を迎えることを確かめ、他人事ではなく、自分のこととしてとらえる。 高齢者疑似体験をする前に、高齢者の身体的な特性を予想しよう。 ・生活場面を想定した4つの項目について予想し、交流する。 ①紙めくり・名前書きなど指先を使うこと ②目の見え方 ③しゃがむ・立つ・座る・くつをはくなど生活の動き ④階段上り下りなどの体の動き ・次の時間の見通しをもつ。 	○高齢者疑似体験を行う目的を確かめ、身体的な特性について思いを寄せている。
4 5	高齢者疑似体験を通して、高齢者の方々の身体的な特性からその生活について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者疑似体験を行う。 高齢者疑似体験キットを身に付け、体験や介助をする中で、高齢者の方々の生活について考えよう。 ・疑似体験する内容は、次の項目。 ①指先を使って、新聞めくる ②色紙を見分ける ③段差のある場所やスロープのある場所を移動する ④箸を使って、豆をつかむ ・体験を振り返り、自分の気持ちの変化や、介助者として感じたこと、不安なこと等について自分の考えをまとめる。 	○高齢者疑似体験や介助を通して、高齢者の方々の生活について考えている。
6 7	地域の高齢者福祉施設を訪問することを通して、生活の場の工夫を知る。また、施設職員さんや高齢者の方々に会うことで、かかわり方について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問のめあてと約束を知り、自分のめあてをたてる。 ・訪問・交流①の進め方を知り、担当者を決める。 高齢者福祉施設を訪問し、生活の場の工夫や職員の方々のかかわり方について知ろう。 ・高齢者福祉施設を訪問する。 ・施設職員の話聞き、施設内を案内していただく。 ・簡単な交流会①として、合唱を披露する。 	○高齢者福祉施設を訪問することを通して、生活の場の工夫に気付いたり、施設職員の方や高齢者の方々の様子からかかわり方について考えたりしている。
8	訪問した施設の様子やそこで出会った方々について思い出し、自分の予想したことと比べて考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問した際のことを振り返る。 高齢者福祉施設で出会った人たちの様子や施設の工夫と自分の考えを比べよう。 ・学習プリントに次の項目で振り返る。 ①高齢者の方々の様子 ②施設で働いてみえる方々の様子 ③施設の工夫 ④11月の訪問・交流②でいっしょにしてみたい活動 ・振り返ったことを交流する。 	○訪問した施設の様子やそこで出会った人たちについて、自分の予想したことと比べてプリントにまとめている。
9	高齢者福祉施設訪問の時のことを思い出し、	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉施設へ2回目の交流会に行くことを確かめる。 出会った人たちや施設の様子から、高齢者の方々とのかかわり方を考えよう。 	○高齢者福祉施設で出会った人たちや施設の様

	出会った人々や施設の様子から、かかわり方について考える	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の工夫で覚えていることを交流する。 ・高齢者の方々の様子について思い出す。 ・施設で働く人たちの様子で気付いたことを交流する。 ・自分たちがどんなかかわり方をするのがよりよいのか、場面を設定し、大原則として考え、交流する。 	子からかかわり方について考えている。
10	本時		
11 12	高齢者福祉施設を訪問し、交流会②を通して、自分たちで考えた高齢者の方々のかかわり方を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問のめあてと約束を知り、自分のめあてをたてる。 ・自分たちで決めた交流②の進め方を確かめる。 高齡者福祉施設を訪問し、交流会②を成功させよう。 ・高齢者福祉施設を訪問し、交流会②を実践する。 ・高齢者の方々の様子から自分たちのかかわり方が適切だったか確かめる。 	○高齢者福祉施設を訪問し、交流会を通して自分たちで考えた高齢者とのかかわり方を実践している。
13	高齢者福祉施設訪問交流会②の振り返りをし、実践したかかわり方の改善について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉施設訪問交流会②のことを振り返る。 事前に考えた高齢者の方々とのかかわり方について振り返ろう。 ・「うまくいったところ」「困ったところ」「次に改善したいところ」の観点で、話し合う。 ・次の交流会③に向けて、よりよいかかわり方をはっきりとさせる。 	○高齢者福祉施設訪問交流会②を振り返り、よりよいかかわり方について考えている。
14 15	高齢者福祉施設訪問交流会③の計画をし、その内容について確かめ、準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉施設へ3回目の交流会に行くことを確かめる。 高齡者の方々とのよりよいかかわり方から交流会③計画し、準備しよう。 ・よりよいかかわり方について確かめ合う。 ・交流会③で使用する道具や物の準備とリハーサルを行う。 ・各グループで、かかわり方について大切にしたいことを確かめ、共通理解をするためのめあてを決める。 	○高齢者福祉施設訪問交流会③について、よりよいかかわり方を考え、計画準備している。
16	高齢者福祉施設交流会③を通して、自分たちで考えたよりよいかかわり方を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのめあてと交流会③の進め方を確かめる。 高齡者福祉施設を訪問し、交流会③を成功させよう。 ・高齢者福祉施設を訪問し、交流会③を実践する。 ・高齢者の方々の様子から自分たちのかかわり方が適切だったか確かめる。 	○高齢者福祉施設交流会③を通して、自分たちで考えたよりよいかかわり方を実践している。
17	高齢者福祉施設訪問交流会③の振り返りをし、実践したかかわり方が今後の成長につながるか確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉施設訪問交流会③のことを振り返る。 高齡者の方々とのよりよいかかわり方について振り返ろう。 ・「改善してうまくいったところ」「困ったところ」の観点で、話し合う。 ・高齢者の方々との交流を通して、自分自身が成長した部分について、振り返る。 ・この単元で学んだことを交流する。 	○高齢者福祉施設訪問交流会の振り返りから、高齢者とのかかわり方の成長を確かめている。
18	高齢者と共に生きようで学んできたことをまとめ、自分自身の成長を確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者について、自分の考えを交流する。 交流会や学習を通して、自分自身が成長できたことを確かめよう。 ・次の3つの観点で振り返り、交流することで、成長を確かめ合う。 ①自分で課題を見付け、考えをもち、課題解決に向けて、自分から進んで考えたり取り組んだりできた。 ②仲間と積極的に関わりながら、協力して活動することができた。 ③自分が成長したことや良い姿に変わったことに気付いて、これからの生き方を考えたりすることができた。 	○高齢者と共に生きようで学んできたことをまとめ、自分自身の成長を確かめている。

3 本時の目標

自分たちで前時に考えた高齢者の方々とのかかわり方から、高齢者福祉施設訪問交流会②の計画を立てる活動を通して、様々な意見を取り入れながら、内容を決めることができる。

4 本時の展開 (10/18 時)

	学習活動	指導・援助 (※人権教育の観点に関わって)
つかむ	<p>1 高齢者福祉施設へ2回目の交流会へ行くことを確かめる。</p> <p>高齢者の方々とのかかわり方から交流会②の計画を立てよう</p> <p>2 高齢者の方々とのかかわり方・大原則を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の方，一人一人とかかわる場合はすぐ近くで話しかけるんだっとな。 ・音楽でリズムをとるときは，大きな動きをすることが大切だったな。 ・一緒に楽しめることが喜ばれるんだっとな。 ・ふれあう場合は，施設の職員さんに許可を取った方がよかったな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを高められるように，具体的な日時を確かめるようにする。 ・前の時間に決めた大原則を画用紙で確かめる。 ・高齢者疑似体験をしたことも思い出させながら，一つ一つ確認するようにする。 ・高齢者疑似体験の時に自分がされてうれしかったこと，介助してもらえて安心したことを想起させるようにする。 ・目安となる時間を知らせ，話し合う時間の見通しがもてるようにする。
追究する	<p>3 交流会②でどんなことをするか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめから1対1でかかわるのは，ちょっと難しそうだな。だから，みんなで一つの出し物したら，どうだろう。 ・音楽ならだれもが楽しめるから，楽器を使うのはどうだろう。 ・許可を得られたら，手を握ったり背中をさすったりして，直接ふれあうと喜ばれるかもしれないな。 ・わたしたちが動くことで，高齢者の方々が動いている気分にならないかな。 ・高齢者の方々と話ができるといいかもしれないな。 	<p>※仲間と様々な考えや意見を伝えあいながら，活動する様子を価値付ける。(自己啓発力)</p>
深める	<p>4 共通理解するためのめあてを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ，近くで，ふれあう。 ・笑顔で，にこにこ楽しむ。 ・感謝の気持ちを込めようよ。 <p>5 交流会の流れと担当者や必要な物を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会進行する人が必要だね。 ・盛り上げ役もあるといいかもしれないな。 ・スムーズに進めるには，時間を見て次の動きを準備する人もいるね。 ・大がかりな準備は難しいから，すぐ準備できる簡単なものもいいよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアが浮かびにくそうな場合には，キーワードをメモしたり，絵を描いたりしてもよい用紙を配布し，考えを可視化したり，表出すると共有しやすいことを伝える。
見つめる	<p>6 本時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを記入する。 ・振り返りを交流する。 	<p>※互いの意見や考えを尊重し合うことができるように，「なるほど!」「そうだね!」「わかる!」「いいね!」「おもしろそう!」という5つの建設的な言葉でリアクションするとよいことを指導することで，児童同士がかかわり合い，自分だけでなく，仲間の意見や考えを取り入れて，より良い考え方を目指していく行動力を醸成する。(行動力)</p>